

人生の川で自由に泳げますか

No. _____

シリア/KHATIB HALA (ハティーブ ハラ)

ある日、私はビデオを見ました。そのビデオは社会的な実験のビデオでした。ランニング・レースです。大学生がスタートラインに並びましたが、始まる前に管理者が質問します。そして、その質問に当てはまる人が前に二歩進むことができます。質問はこのようなものでした。「今も両親が良い関係を保っている方」「私立の学校に入学した方」「大学費用を払う悩みのない方」「毎日の生活費のために働かなくてもいい方」そして、「健康に問題がない方」などの質問をし続けます。

ある学生は全然動きませんでした。ある学生はレースのゴール地点まであと少しというところまで行きました。レースが始まる前のそれぞれの学生のスタート地点を見ると、そのレースはアンフェアとしか考えられません。

これは、人生の厳しさを表していると思います。そのレースに参加した学生は自分の意志でレースのスタート地点を選びましたが、実際の人生においては、全て自分の意志で選択することはできないでしょう。無理やり引き込まれてしまうことが多いのではないのでしょうか。また、そのランニング・レースは直線で、障害物もありませんでしたが、実際のレースでは動きが予測できない川のように思います。曲がりくねったり、渦も多いですね。つまり、人生の川です。この川の流れの強さやスピードはときどき変わります。表面上はきれいですが、中では差別をはじめ、不平等な点があるのは事実です。男女の違い、肌の色、美貌、家柄、国情などです。

このレースはいつ終わるのでしょうか。結果はいつ発表されるのでしょうか。ルールはだれが決めたのかと思うときはありませんか。この川の中で泳ぐことがどのくらい大変なのかは人によって変わります。ライフジャケットのような救命道具を持っている人もいれば、持っていない人もいます。しかし、もし渦に巻き込まれたら、どのくらいまで耐えることができるのでしょうか。

多くの方は、自分が築いてきた人生がふたたびゼロからスタートするとは考えていないでしょう。私もそう思っていました。数年前、私の川の流れが理不尽に変わり始めました。

国で内戦が起こるとは、有り得ない話だと思いました。私だけではなく、ほとんどの国民全員がそう思っていました。急に町の姿が変わって、他の町へ行くことが危険になって、お店の商品の種類が減り、値段が上がり、軍隊の姿がどこでも見られ、戦闘機が空を飛びました。あっという間の出来事でした。そ

れだけではなく、昨日までの友人が今日からは敵になりました。家の中は一番安全かと思ったら、大間違いです。いつ、どこから砲弾やミサイルが飛んでくるかは誰にも予測できません。7年前から今までその恐怖がどこにいても何をしても感じられるのです。

「いつ起こるのか」「どのぐらいの損害があるのか」「家族や友人は無事なのだろうか」このように考え始めると、冷静でいられなくなります。危険な船に乗って国から脱出した人もいたのです。

花のような子供や若者が、毎日、しぼんでいきます。子供たちは一気に大人にならざるを得ませんでした。ミサイルの衝撃で足がなくなった人は歩けなくなります。事実を受けとめきれないと、渦にはまってしまいます。耐えられなくなる前に援助の手がさし延べられなかったら、もう沈むしかないでしょう。

この現実、自分が決めたわけではありません。アンフェアなレースは、どうすればフェアなレースに変えられるのでしょうか。巻き込まれた渦から逃げ出す方法も分かりません。しかし、この避けられない現実について自分を責めることは間違いだと思います。

人生の川の中では、渦に巻き込まれてしまうことが多いかもしれません。しかし、渦を乗り越えたらそれは、経験というライフジャケットになります。あきらめずに、自分の人生の川で自由に泳ぎ続けましょう。